

西の丸御蔵城宝館特別展

「名古屋城と相応寺—家康を愛した女性 相応院の眠る寺」

開催要項

1. 名称

西の丸御蔵城宝館特別展「名古屋城と相応寺—家康を愛した女性 相応院の眠る寺」

2. 趣旨

相応院お亀の方（1573～1642）は、尾張徳川家の基礎を築いた女傑です。最初の夫を失ったあと徳川家康と暮らし、のちの尾張藩初代藩主義直をもうけます。お亀の方は、晩年の家康とともに駿府城で義直を慈しみ、家康が亡くなると剃髪して相応院と号し、名古屋城に入り藩主義直を支えました。寛永 19 年（1642）相応院は没し、翌年、菩提寺として宝亀山相応寺が名古屋城下に建立されました。

相応寺には、義直が描いた相応院の画像が伝えられ、創建時にさかのぼる貴重な杉戸絵も現存します。令和 6 年、それら相応寺所蔵の絵画や仏画・仏像、本堂・総門・山門などが、名古屋市指定有形文化財に指定されました。それを記念し、障壁画を中心とした相応寺の寺宝を公開します。生前の相応院を取り巻いていた、豪奢な空間をお楽しみいただくものです。

3. 主催

名古屋城総合事務所 名古屋城調査研究センター

4. 協力

一般財団法人 名古屋城振興協会

5. 特別協力

相応寺

6. 会場

名古屋城 西の丸御蔵城宝館（名古屋市中区本丸 1 番 1 号）

7. 会期

令和 6 年（2024）12 月 21 日（土）～令和 7 年（2025）2 月 24 日（月・祝）

会期中は無休（ただし、12 月 29 日（日）～31 日（火）は休館。また、催事等で変更になる場合があります。）

※前期：令和 6 年（2024）12 月 21 日（土）～令和 7 年（2025）1 月 23 日（木）、後期：令和 7 年（2025）1 月

24日(金)～2月24日(月・祝)を予定しています。

会期中に一部作品の展示替えを行います。

詳細は名古屋城公式ホームページにてご確認ください。

8. 開館時間

午前9時～午後4時30分（最終入館午後4時）

9. 観覧料

無料

※名古屋城観覧料500円（名古屋市内在住65歳以上100円・中学生以下無料）が必要です。

10. 主な出品資料

名古屋市指定文化財 「相応院画像」 徳川義直自画賛 相応寺蔵

名古屋市指定文化財 「相応院画像」 徳川義直筆 相応寺蔵

名古屋市指定文化財 「相応寺杉戸絵」 相応寺蔵

「扁額「宝亀山」」 寛永20年(1643) 徳川義直筆 相応寺蔵

「十二月花鳥図押絵貼屏風」 江戸時代後期 田中訥言筆 相応寺蔵

愛知県指定文財 「旧相応寺障壁画」 名古屋市博物館蔵

重要文化財 「名古屋城本丸御殿天井板絵」 名古屋城総合事務所蔵

11. 担当

〒460-0031

愛知県名古屋市中区本丸1番1号

名古屋城総合事務所 名古屋城調査研究センター

学芸員 朝日 美砂子

TEL:052-231-2481 FAX:052-218-5335